

各県立学校長 様

教育研修課長

【緊急】USBメモリ、MOディスクなどを感染経路としたウイルスについて

平成 20 年 9 月から 10 月にかけて、複数の県立学校内でUSBメモリを感染経路としたウイルスが発見され、校内のパソコン及び校務処理用のUSBメモリへの感染が確認されました。については、ウイルス感染を予防するため下記のとおり対応をお願いします。

記

1 当該ウイルスの感染予防対応について

- (1) 平成20年2月15日付け教研第 608 号「【緊急】USBメモリ、MOディスクなどを感染経路としたウイルスについて」により感染予防についての対応を依頼済みです。  
※別紙 1 を参照ください。
- (2) USB メモリなどを最新のウイルス対策ソフトで日常的に手動検索し、安全を確保してください。

2 このウイルスについて

- (1) ウィルス対策ソフト会社からの情報によると、平成 20 年 9 月期あたりから再び感染活動が盛んになっているとのことです。
- (2) ウィルス感染したUSBメモリをパソコンに差し込んだり、MOディスクをMOドライブに挿入するなどして、ドライブを開くだけで感染するウイルスです。
- (3) ウィルスに感染すると、保存されたデータが破壊されるなど重大な被害が起きる可能性があります。

教育研修課 情報研修担当			
担当チーフ	下 平	担当	樋 口
住 所 電話番号	岐阜市則武新屋敷1816-6 058-231-3615		

## USBメモリ、MOディスクなどの外部記憶媒体の利用時の注意

校内の全パソコンについて、ウイルス対策（最新の状態になっていること）を確認し、最新の状態になっていないものは、至急、最新の状態にする。

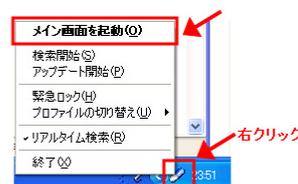
- 1 USBメモリ、MOディスクなどの外部記憶媒体を校務で利用する場合は、学校内で利用が許可されたパソコン以外では利用しない。（最近の感染事例も学校外のパソコンで感染したUSBメモリを学校内のパソコンに接続したために感染しました。）
- 2 USBメモリやMOディスクなどの外部記憶媒体を、所属長の許可を得て持ち出して利用する際には、相手先のパソコンに最新のウイルス対策ソフト（最新のパターンファイルとなっていること）が導入されていることを確認する。
- 3 USBメモリやMOディスク、ポータブルハードディスクなどを接続する際は、以下のとおり作業を行う。

### ・OSが Windows2000 Windows XP の場合

①ウイルス対策ソフトが最新版に更新されていることを確認する。

※ウイルスバスターの場合……パターンファイルの確認方法

- ・ コーポレートエディションの場合はタスクトレイのアイコンにマウスをあわせると表示される。ウイルスバスター 2007,2008 の場合は、メイン画面を起動し、[ヘルプとサポート] をクリックし、[バージョン情報] をクリックすると表示される。
- ・ 次の数字以上になっていることを確認する。（エンジン/パターン 8.910.1002/5.613.00）
- ・ パターンファイルが古い場合は、至急最新版に更新する。



②USBメモリを接続又はMOディスクを挿入し、**30秒**

**以上**そのまま待機する。

（ウイルスチェックを待つ。）

③USBメモリやMOディスクを開く際は、アイコンの上で右ボタンをクリックし、「開く」を利用する。

### ・OSが Windows Vista の場合

①OSのオートラン機能を無効にする。（Windows Vista は初期設定でオートランが有効になっているため）

※オートラン機能の無効化が行えない場合は、USBメモリやMOディスクなどの外部記憶媒体を接続しないようにする。

（教育研修課情報研修担当まで相談）

②上記「OSが Windows2000 Windows XP の場合」と同様の処理を行う。

- 4 教職員以外のコンピュータの利用時(生徒が授業などで利用する場合や一般向けに開放された講座などを行う場合)には、上記3の処理後に利用する。
- 5 感染していると思われる症状（コンピュータの処理が急に重くなったなど）が現れた場合、情報化推進担当者が状況確認したうえ、まずネットワークから切断し、教育研修課情報研修担当まで連絡する。